

災害時に中学生が地域の力になるために

区では、中学生が災害時の避難所運営を学ぶ「ハイパージュニアレスキュー講習会」をすべての中学校で実施しています。5月26日、初回となる講習会を山潟中学校で行い、2年生124名が参加し、9名の防災士から段ボールベッドの設営や応急用担架の作り方を学びました。



▲段ボールベッドをみんなで組み立てる様子

あるもので何ができるかを考える

防災士から「段ボールベッドがない場合、学校にある物でベッドを作るには?」と問いかけられ、生徒たちからは「机」「マット」とすぐに声が上がりました。また、毛布を折りたたんで担架を作り、実際に人を運べるかを確認



▲毛布と2本の物干し竿で作った担架に乗っている様子



▲毛布の代わりにシャツ2枚を使って担架に

しました。毛布がない場合、シャツ2枚で代用できることも学び、「災害時は今あるものでどう対応するか考えることも大切だよ」と防災士は話しました。

中学生の皆さんに期待したいこと

講習会の最後、防災士を代表して清水修さんは「災害時、まずは自分の命を守ることが最優先です。その次に自分に何ができるかを考えてください。避難所の運営は防災士だけでは足りません。力仕事だけでなく、お年寄りや小さい子どもに声掛けして話し相手になるなど、できることはたくさんあります」と生徒たちに伝えました。



▲生徒の前で話をしている防災士の清水さん

講習会で学んでみて

鈴木菜友さんは「段ボールベッドの組み立てと応急用の担架作りは自信をもってできます」と話してくれました。

片桐愛来々さんは「お年寄りなど困っている人がいたら力を貸したい、率先して動きたいと思います」と力強く答えてくれました。



▲完成した段ボールベッドに座る様子

本誌掲載のイベントは6月9日時点のものです。

金曜日の夕暮れはリバーサイドで Sunset佐渡おけさ2025で踊ってみよう

参加費無料!
初心者大歓迎!



萬代橋のもとで今年も「Sunset佐渡おけさ」が開催されます。通勤・通学帰りや散歩の途中にふらっと立ち寄れる気軽さが魅力です。川風と夕陽を感じながら、みんなで佐渡おけさを楽しみませんか。

日時 9/5までの毎週金曜日 午後6時～9時
(途中参加・退出OK)
会場 万代テラスハジマリヒロバ(万代3) [詳細はこちら▶](#)



佐渡おけさとは?

佐渡おけさは、熊本・天草の漁師唄「ハイヤ節」をルーツに持つ民謡です。「ハイヤ」は南風(はえ)を語源とし、風待ちの漁師たちがうたっていたものが、北前船に乗って各地へ伝わりました。やがて佐渡の風土に根づき、「佐渡おけさ」として親しまれるようになりました。

参加者の声

初めてでも1から教えてくれて安心でした!



区だより記者もこっそり潜入!

体を動かすと楽しい頭の体操にもなります!



のぼりが目印!

佐渡おけさ踊り隊代表 清水美帆さん

佐渡おけさはいくら踊っても飽きのこないすてきな踊りなので、もっと気楽にいるんなりに踊ってほしいです。ぜひ踊れるようになって、8月8日の「新潟まつり・大民謡流し」に一緒に参加しましょう!

地方(唄い手と演奏者)さんの生演奏で踊れるかも!?



梅雨時期の電気火災に注意!

湿気が多くなる梅雨の時期は、電気火災が発生しやすくなります。以下のポイントを意識して、火災のリスクを減らしましょう。

☎中央消防署予防課(☎288-3119)

最後に電源プラグを抜いて掃除したのはいつ頃かな?



火災を防ぐポイント

①コンセント周りの清掃 ②接続は確実に!

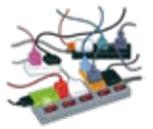
電源プラグのさし刃に付着したホコリなどが湿気を帯び、通電して出火することがあります。家電や棚の後ろなど、こまめに掃除しましょう。



火災を防ぐポイント

③コードは束ねない ④たこ足配線をしない

電源コードを束ねた状態や荷物が乗った状態で使用すると、断線したり、放熱が正常に行われず、火災につながる恐れがあります。



定期的に住宅用火災警報器の点検を

■日頃の点検

定期的に点検ボタンなどで点検やお手入れをしましょう。本体交換の時期は、ピッ…ピッ…という音や、ランプの点滅で電池切れをお知らせします。

■故障や電池切れが疑われるとき

- ・電池式のもので、「ピッ 電池切れです」と音声が出る場合は電池か本体を交換してください。
- ・購入から10年経過している場合は、本体交換をおすすめします。

設置・交換が難しい方へ

高齢者世帯などで警報器の設置や交換が難しい場合は、取り付けサポートも行っています。お気軽に同課までご相談ください。

《広告欄》

Blank boxes for advertisements.